

第 54 回 東北社会学会大会プログラム

第一日目：2007年7月21日（土）
第二日目：2007年7月22日（日）

21日（土）	9:00-	受付	2号館3階入り口
	9:50-	開会の辞	230
	10:00-12:00	自由報告Ⅰ	231, 232, 221
	12:00-12:45	理事会Ⅰ	第17演習室
	13:00-17:00	課題報告	230
	17:10-18:00	学会総会Ⅰ	230
	18:10-20:00	懇親会	食工房「風土」
22日（日）	10:00-12:00	自由報告Ⅱ・企画部会	231, 232, 221
	12:00-12:45	理事会Ⅱ	第17演習室
	13:00-15:00	自由報告Ⅲ	231, 232, 221
	15:10-15:20	学会総会Ⅱ	230
	15:20-	閉会の辞	230

会員控え室：第18・19演習室
大会事務局：第16演習室

大会参加費 一般・院生：1000円
懇親会会費 一般：6000円
院生・学生：4000円

主催 東北社会学会

担当校 東北福祉大学

会場 東北福祉大学国見キャンパス

第一日目

開会の辞 9:50— 会長 海野道郎

自由報告 I 10:00—12:00

A 部会 理論・学説 I (司会 福井大学 伊藤 勇) 231

- | | | |
|--|------|------|
| 1. E・ゴフマンの状況的パースペクティブ再考
—『フレーム分析』における「人・役割」概念の検討を通して— | 東北大学 | 木村雅史 |
| 2. A.ストラウスの相互行為論における「相互行為」について | 東北大学 | 山口健一 |
| 3. 「解釈的相互行為論」における実践的課題
—N.K.デンジンにおける C.W.ミルズ論の検討を通して— | 東北大学 | 新田貴之 |
| 4. 1920年代における G.H.ミード社会的自己論の特質
—「自己実現」論に注目して— | 東北大学 | 寺田征也 |

B 部会 社会階層 (司会 東北学院大学 片瀬一男) 232

- | | | |
|---|------|------|
| 1. 職業威信研究の課題と展望 | 東北大学 | 塩谷芳也 |
| 2. 現代日本社会における地位の非一貫性問題
—2005年SSM調査の分析— | 東北大学 | 林 雄亮 |
| 3. 若年・壮年層の格差に対する意識は変わったか | 東京大学 | 三輪 哲 |

C 部会 専門職とヘルスケア (司会 東北学院大学 菅原真枝) 221

- | | | |
|--|--------|--------|
| 1. 介護専門職の「質」の語られ方とその差異
—検討会における議論に着目して— | 東北大学 | 京須希実子 |
| 2. 「専門職としてのカウンセリング」に関する一考察
—Andrew Abbottの議論を中心に— | 東北大学 | 丸山和昭 |
| 3. 患者の自己決定と専門職的介入 | 淑徳大学 | 高柳千賀子 |
| 4. 保健福祉行政の変遷と保健師活動
—岩手県における保健師配置数の実態から— | 岩手県立大学 | 佐々木久美子 |

課題報告 13:00—17:00 230

ガバナンス論の射程——ディシプリン間のインターフェイスを求めて

- | | | | |
|---------------------------------------|-------------|-------|-------|
| | 司会・コーディネーター | 東北大学 | 長谷川公一 |
| | コメンテーター | 東北大学 | 牧原 出 |
| | | 東北大学 | 上田耕介 |
| 1. グローバル・ガバナンスとヨーロッパ・ガバナンス
—政治学から— | | 早稲田大学 | 坪郷 實 |
| 2. 環境ガバナンスと持続可能な発展
—経済学から— | | 京都大学 | 植田和弘 |
| 3. ローカル・ガバナンスと「開かれた都市空間」
—社会学から— | | 東北大学 | 吉原直樹 |

学会総会 I 17:10-18:00 230

懇親会 18:10-20:00 食工房「風土」

第二日目

自由報告 II・企画部会 10:00-12:00

D部会 理論・学説 II (司会 新潟大学 松井克浩) 231

- | | | |
|---|---------|------|
| 1. 空間概念の整理
—D・ハーヴェイの空間分類— | 東北大学 | 笹島秀晃 |
| 2. 政治的平等、経済格差、テロリズム
—ロバート・ダールの2つのシナリオ— | 東北大学 | 上田耕介 |
| 3. T.パーソンズにおける社会進化論の開展 | | 諸岡了介 |
| 4. 明治期の老農における家業と職業
—近代日本の職業観念の事例研究として— | 爽秋会岡部医院 | 相澤 出 |

E部会 政治 (司会 東北大学 秋永雄一) 232

- | | | |
|---|------|-------|
| 1. 市民協働か都市成長か
—地方議会の対立軸— | 東北大学 | 長谷川公一 |
| 2. ネットワークと政治参加行動の不平等
—韓日における関係的資源と行動の計量分析— | 立教大学 | 村瀬洋一 |
| 3. インターネット空間における媒介の論理
—なぜマスメディア批判が高まるのか— | 東北大学 | 戸邊俊哉 |
| 4. 市民社会団体の活動目的 | 筑波大学 | 山本英弘 |

企画部会 信頼研究の最前線 221

(共催：東北大学大学院文学研究科 21世紀 COE プログラム「社会階層と不平等研究教育拠点」)

- | | | | |
|--|---------|--------|------|
| | 司会 | 宮城教育大学 | 菅野 仁 |
| | コメンテーター | 学習院大学 | 数土直紀 |
| 1. 信頼と寛容の社会理論
—イギリスの人種関係政策の分析を通して— | 東北大学 | 安達智史 | |
| 2. 異質な他者との付き合いは個人の信頼を上昇させるのか?
—社会関係資本と信頼の関係に関する一考察— | 東北大学 | 金澤悠介 | |
| 3. 震災前後の一般的信頼の変化
—中越地震被災地におけるパネル調査から— | 明治学院大学 | 辻 竜平 | |

自由報告Ⅲ 13:00-15:00

F部会 理論・学説Ⅲ (司会 北海道教育大学 小松文晃) 231

1. ルーマンの社会システム理論における介入の問題	淑徳大学	本多敏明
2. ジェンダー研究におけるルーマン理論の可能性	淑徳大学	佐藤麻衣
3. アンソニー・ギデンズの親密性論 —不安とむきあう社会学理論をめざして—	同志社大学	藤本稔彦
4. 「情報社会」の記述 —N.ルーマンとA.ギデンズの理論をとおして—	東京福祉大学	安倍尚紀

G部会 NPO (司会 東北大学 本郷正武) 232

1. 自助組織の共同性規範はどのように創られるか? —札幌市における断酒会の事例から—	北海道大学	竹中 健
2. “KESAB”はなぜ元気か? —南オーストラリア州の環境 NPO の成功原因を探る—	東北大学 岩手県立大学	海野道郎 篠木幹子
3. 環境 NPO・NGO によるネットワーク形成の現状と課題	東北大学	三橋奈緒

H部会 地域 (司会 岩手県立大学 吉野英岐) 221

1. 経営システムにみるガバナンスの含意 —整備新幹線 (北陸新幹線) の含意過程に即して—	東北大学	古平 浩
2. 地域社会における財政の破綻と「再建」 —福岡県と福島県の市町村の取り組みを事例として—	関東学院大学	湯浅陽一
3. 地域づくりにおける文化の担い手の検討 —宮城県丸森町小斎地区の事例—	東北大学	岸上真由美
4. 民俗遺産の保存と伝承母体の流動性 —秋田県旧鉱山地域の二祭礼から—	東北大学	高橋雅也

学会総会Ⅱ 15:10-15:20 230

閉会の辞 15:20— 東北福祉大学 星山幸男